

主な出演者紹介

松井 彬



能楽師 シテ方喜多流職分
国総合認定重要無形文化財
1946年生れ、和歌山県在住

大島 衣恵



能楽師 シテ方喜多流
エリザベト音楽大学非常勤講師
1974年生れ、福山出身
福山市在住

長島 茂



能楽師 シテ方喜多流職分
国総合認定重要無形文化財
1959年生れ、福山出身
埼玉県在住

内田 成信



能楽師 シテ方喜多流職分
国総合認定重要無形文化財
1968年生れ、神奈川出身
東京都在住

松井 俊介



能楽師 シテ方喜多流
1978年生れ、和歌山県在住

有松 遼一



能楽師 ワキ方高安流
1982年生れ、東京都出身
京都府在住

森田 保美



能楽師 笛方森田流
国総合認定重要無形文化財
1963年生れ、京都府在住

久田 舜一郎



能楽師 小鼓方大倉流
国総合認定重要無形文化財
1944年生れ、兵庫県在住

河村 大



能楽師 大鼓方石井流
国総合認定重要無形文化財
1960年生れ、名古屋出身
京都府在住

小寺 真佐人



能楽師 太鼓方観世流
1977年生れ、東京都在住

茂山 あきら



能楽師 狂言方大蔵流
国総合認定重要無形文化財
1952年生れ、京都府在住

丸石 やすし



能楽師 狂言方大蔵流
国総合認定重要無形文化財
1950年生れ、京都府在住

鈴木 実



能楽師 狂言方大蔵流
1978年生れ、京都府在住

松本 薫



能楽師 狂言方大蔵流
国総合認定重要無形文化財
1951年生れ、京都府在住

定期公演
のご案内

第263回 6月21日(日)

能 「俊成忠度」……大島 政允
狂言「察化」……茂山 七五三
能 「海人」……大島 輝久

第264回 9月20日(日)

能 「班女」……大島 衣恵
狂言「萩大名」……茂山 千五郎
能 「船橋」……金子 敬一郎

第265回 11月15日(日)

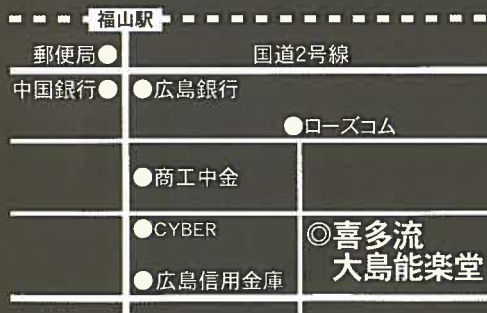
能 「唐船」……大島 政允
狂言「延命袋」……茂山 あきら

喜多流大島能楽堂

広島県福山市光南町2-2-2
TEL.084-923-2633
FAX.084-923-2633
osimano@orange.ocn.ne.jp
www.noh-oshima.com



後援
広島県教育委員会
福山市
福山文化連盟



福山駅より徒歩15分 バス停「商工中金前」



お得な鑑賞券 年間共通四枚綴 ¥20,000

年4回公演のチケットを一括でお求めになると¥4,000お得です。複数でのご利用にもお使いいただけます。

令和二年第一回(通算二六二回)
大島能楽堂定期公演

四月十九日(日)十二時半始
喜多流大島能楽堂

解説

シテ(後徳丸) 大島 衣恵

能 弱法師

ワキ(後徳丸の交通後) 有松 遼一

間(供人) 鈴木 実

大鼓 河村 大

小鼓 久田舜一郎

笛 森田 保美

休憩 十五分

狂言 土筆

シテ(男甲) 茂山あきら

アド(男乙) 丸石やすし

後見 増田 浩紀

仕舞

笹ノ段

長島 茂

野守

内田 成信

休憩 十分

解説

シテツレ(女御) 松井 俊介

シテ(後・怨霊 前・老人) 松井 彬

能 綾鼓

ワキ(臣下) 有松 遼一

間(従者) 松本 薫

大鼓 河村 大

小鼓 久田舜一郎

太鼓 小寺真佐人

笛 森田 保美

付祝言

終了予定 四時半頃

サポーター各位 (五十音順)
温かいお力添えに心より御礼申し上げます。

 アイシン産業 福山市神村町 3550-1 TEL 084-934-6615	 秋山クリニック 広島市安佐南区大町東 2-12-24 TEL 082-870-3322
 池田医院 福山市新市町戸手 2121-1 TEL 0847-51-2098	 一心グループ株式会社 福山市赤坂町赤坂1276 TEL 084-952-4000
 SRホールディングス	 Oriental Hotel 福山市城見町 1-1-6 TEL 084-927-0888
 KYOEI TENPO 福山市曙町 1-3-17 TEL 084-953-1650	 株式会社 サンネット 広島市中区袋町 4-21 TEL 082-248-4100
製鉄原料株式会社 尾道市正徳町 29-14	大栄鋼業株式会社 福山市霞町1-1-1 福山信愛ビル8F TEL 084-922-1537
 株式会社 中冷 広島市西区商工センター 8-9-30 TEL 082-277-5021	 H.DAIXA 福山市新市町戸手 662 TEL 0847-52-5555
 原田鋼業株式会社	 春海会 福山市田尻町 4115 TEL 084-983-5888
 広島マツダ 広島市南区大洲 4-10-11 TEL 082-286-2328	 ふくやまアートサロン 福山市船町 7-23 TEL 082-923-5530
 福山電業株式会社 福山市昭和町 6-1 TEL 084-922-6361	 福山臨床検査センター 福山市草戸町 1-23-21 TEL 084-921-2751
 藤井製パン所 福山市川口町 2-3-4 TEL 084-953-0343	松井法律事務所 岡山市北区善山町 3-7 両備善山町ビル 4 階 TEL 086-221-0221
 松岡病院 福山市宝町 5-32 TEL 084-923-0385	 宮崎胃腸科 放射線科 院内 福山市霞町 2-4-3 TEL 084-932-2485
 無学泰山塾 ESTABLISHED IN 1973 TEL 084-955-8624	 メモリアルホール 福山市千田町千田 2493 TEL 084-955-2500
 LOIRE ロアール元町店 TEL 084-932-2633	 和田歯科医院 福山市新市町新市 695-2 TEL 0847-52-6480

曲目解説

弱法師

よろぼうし

河内国高安の住人通俊は、讒言を信じて我が子俊徳丸を追放した事を悔い、天王寺で修行をします。弱法師と呼ばれる盲目の乞食の少年が、施しを受けに来ます。思慮深い様子に感心した通俊が施しを渡すと、弱法師の袖に、偶然梅の花びらが舞い込みます。少年は喜び、天王寺の縁起を語ります。通俊は、彼こそ息子だと気づき、人目を避けて夜に名乗り出ようと、日想観(入日を拝み西方浄土を願う事)を勧めます。弱法師は、視力を失う前に見た難波江の光景を、ありありと心の内に見ます。感極まってさ迷ううち、人にぶつかって転び、笑われて、現実を引き戻されます。通俊は父だと明かし、手を引いて故郷に連れ帰るのでした。巧みな構成で人の心を描き出す名曲で、シテの、杖を効果的に使った動きも見所です。



土筆

つくづくし

男が友人と春の野辺に遊びに行き、土筆を見て「土筆の首しをれてぐんなり」と歌を詠みます。友人に馬鹿にされ、古歌にも「風さわぐんなり」という例があると反論しますが「さわぐんなり」の間違いだと笑われます。次に芍薬の花を見て友人が古歌を引くと、男が間違いを笑い、嘲笑し合った末、怒った男は相撲を挑みます。

綾鼓

あやのつづみ

賤しい庭掃きの老人が、女御の姿を見かけて恋に落ちます。女御はあきらめさせようと「庭木に掛けた鼓を鳴らせば姿を見せる」と伝えます。老人は必死で鼓を打ち続けますが、実は鼓は綾布で張られており、音は出ません。それを知った老人は、あまりの屈辱に「思い知らせよう」と言い残して池に身を投げます。経緯を聞いて池の辺に出た女御は、にわかには正気を失います。老人の怨霊が現れて「鼓を打つてみる」と女御を責めて打ち据え、相手が倒れると、恨みの言葉を放って水底に消えます。

この曲は、他流に伝わる「綾鼓」を、喜多流で詞章・演出等に創意を加えて改作したものです。老人の恋情と怨念を生々しく描写し、失恋を題材とした能の中でも異色の作品です。

